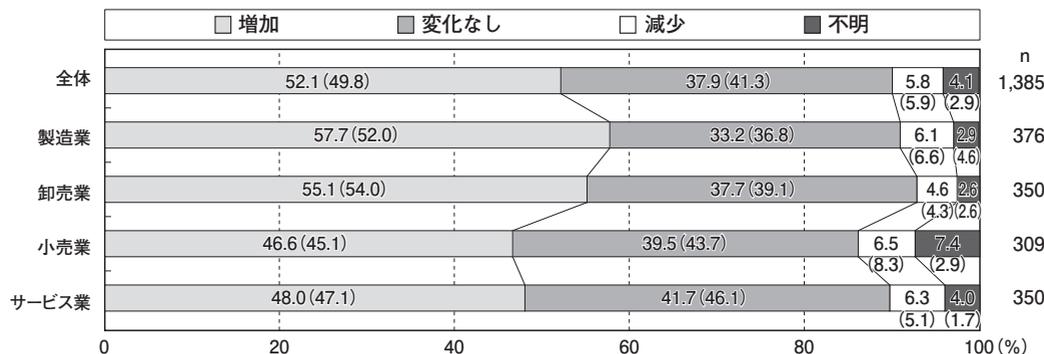


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2024年（令和6年）3月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体で見ると、「増加」が52.1%（前回調査49.8%）と最も高く、「変化なし」が37.9%（同41.3%）、「減少」が5.8%（同5.9%）の順で続いた。

図表8 コストの変化（前年同月比）



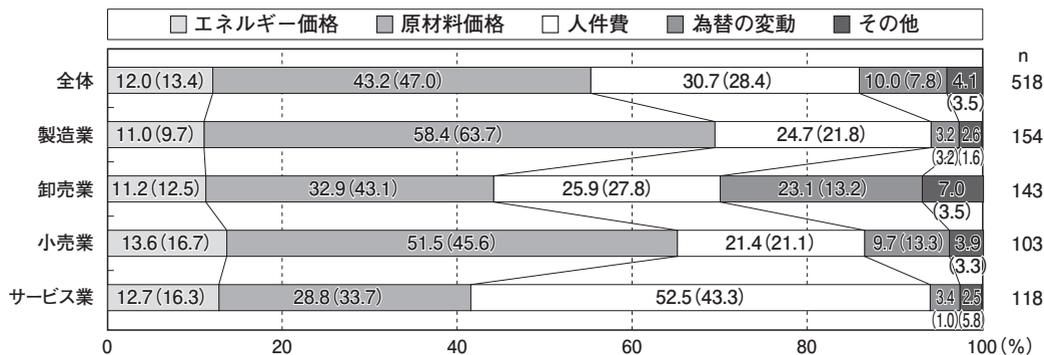
注) 無回答を除き集計。()内は前回調査（令和6年3月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体で見ると、「原材料価格」が43.2%（前回調査47.0%）と最も高く、「人件費」が30.7%（同28.4%）、「エネルギー価格」が12.0%（同13.4%）、「為替の変動」が10.0%（同7.8%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が58.4%（同63.7%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」の23.1%（同13.2%）、小売業は「エネルギー価格」の13.6%（同16.7%）、サービス業は「人件費」の52.5%（同43.3%）がそれぞれ高い。

図表9 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）（図表8）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。()内は前回調査（令和6年3月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。